

# 教育スポーツ委員会

付託議案 ・ 議案第95号・議案第112号

☑ 学校教育施設整備基金の増額について、3億円と高額だが、目的があるのか。また、こうした多額の基金を積み立てるに当たっては、当初予算において計画的に計上すべきではないか。

☒ 久保、長江、土堂小学校の関係と、中学校給食やその施設整備、また校舎の長寿命化といったことを見通した積み立てで、この補正を加えた基金残高は5億8,000万円余りとなる。計画的に当初予算で積み立てるのが本来の姿であろうと思うが、今般、財源的に積み立て可能な状況が生じたため、機を捉えて今回の補正となった。

☑ 修学旅行違約金助成にかかわり、修学旅行の実施予定は。

☒ 現在の中学3年生は本来2年生時に修学旅行へ行く予定であったが、コロナ禍で今年度に延期となっている。実施状況については、6校が実施済みであり、その他に3年生がいない学校が1校あるため、それを加えた7校を除く9校が今後実施する予定である。また現在の中学2年生は10月から3月の間で計画中である。小学6年生については9月から11月に計画していたが、9月実施予定の5校については延期が決定している。

☑ 小学校および中学校の備品購入費における校用備品の内容について伺う。

☒ 小、中学校とも大型提示装置の整備を予定するもので、各普通教室に大型提示装置を置き、オンラインによる配信で各家庭にいる児童生徒の顔を見ながら授業を行う。この整備により、教室の移動による分散授業も工夫できるのではないかと考えている。また、整備の台数については、小学校では62台、中学校では100台の整備を予定している。

☑ 現在児童生徒一人一人に整備されたタブレット端末が十分活用されていないのは、回線や通信容量の問題があると思うが、大型提示装置を整備する前に通信環境の整備をするべきではないか。

☒ 通信環境の改善については、規模や立地条件などにより、各学校で改善方法が異なるとともに、通信関係費用は今後のランニングコスト等にも大きく影響することから慎重に検討しているところである。

その他の項目

- ・教育環境の整備と転出超過との関係
- ・新学期における学校の12歳未満の児童に対するコロナ感染防止策
- ・保護者からの要望におけるトイレ改修の認識とその予算要求

〈審査結果〉

付託を受けた2議案については、いずれも全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

## 10月臨時会の概要

令和3年10月臨時会は10月4日に招集され、会期を1日として審議に入りました。

市長から1件の報告があり、令和2年度尾道市一般会計等の決算認定11議案と財産の取得に関する議案1案が提出されました。

令和2年度尾道市一般会計等の決算認定11議案については決算特別委員会に審査を付託し、本会議休憩中に開会した決算特別委員会において議会閉会中の継続審査の申し出をすることに決定しました。

財産の取得に関する議案は総務経済委員会に付託し、本会議休憩中に総務経済委員会を開会して審査を行い、付託された議案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

再開された本会議では、総務経済委員会の委員長報告が行われ、財産の取得に関する議案は原案のとおり可決しました。決算特別委員会から申し出のあった議会閉会中の継続審査についても可決しました。

議会閉会中の継続審査となった決算認定議案は、同じく決算特別委員会に付託されて議会閉会中の継続審査となっている企業会計の決算認定3議案と合わせて、10月12日から14日の3日間にわたり開会した決算特別委員会で審査を行いました。

審査の結果は12月定例会において報告し審議されますので、詳細は令和4年2月10日発行予定の議会だよりに掲載します。